

2019年度 第6回OR学会理事会 議事録

日時：2020年1月27日(月)17:00～19:45

場所：(株)日立製作所 第2会議室(秋葉原 ダイビル18階)

出席理事：齊藤，河東，松井，木村，嶋谷，渡部，矢野，松本，三好，繁野，村松，堀田，椎名，藤本，森田，加地，詹

欠席理事：土肥

出席監事：大城，渡辺

事務局：内山，高木(書記)

【審議事項】

1. 前回議事録確認

渡部庶務理事より報告があり，承認された。

6. 機関誌投稿論文区分改定に関する記載については，投稿規定および庶務理事で別途確認することとなった。

また渡部庶務理事よりメール審議の書式について説明があり，通常の理事会とは別とのことで，前回発行の議事録で問題なしとのこと，また全員の承諾が必要であることが確認された。

2. 入会承認の件

嶋谷庶務理事より報告があり，承認された。

齊藤会長から一般会員は減少しているのか？との質問があり，嶋谷庶務理事から例年通り減っていると回答があった。

齊藤会長からは「会員数の減少は活動が低迷している印象を受ける。ORは世の中のニーズがあり，いまでこそ投資をして増やしていく活動が必要。どうしたら増やせるかについてプロジェクトを作る等，全員で何ができるのかを考えることが必要」とコメントがあった。

3. 2020年春季表彰学会賞受賞候補者推薦の件

松井表彰委員長より報告があり，承認された。

4. 新フェロー推薦の件

松井フェロー会議議長代理より報告があり，承認された。

5. 2020年度「研究者海外研修支援事業」派遣者の選考の件

矢野国際理事より報告があり，承認された。

6. 2020 年度支部予算の件

三好研究普及理事より報告があり，承認された。

内山事務局長から補足説明があり，支部事業費の増額は 60 周年記念事業を起点にスタートしたことを確認された。

7. 2020 年度研究部会等「終了・継続・新設」の件

三好研究普及理事より報告があり，承認された。

齊藤会長から「研究部会は会員数を増やす活動につながっているのか，ルーチンワーク化されていないか」とコメントがあった。

繁野編集理事から「部会の活動と機関誌の特集につながっていないのが現状なので，活発になるような働きかけが必要」とのコメントがあった。

7-2. 研究部会における追加補助金について

三好研究普及理事より報告があった。

堀田会計理事から「過去の全部会の活動一覧表等がないと，判断が難しいのでは」とコメントがあった。

齊藤会長から「ユーザのデータを収集して判断していくサイクルを考えて，プラスαの投資を考えていきたい」とコメントがあった。

森田支部理事から「個人研究費の状況把握と，事業として承認する形にしては」と提案があった。

以上の指摘を踏まえて，補助金の申請方法・実績把握方法等を再度検討することになった。次年度予算には入れておく一方で，募集は止めることとなった。

8. 2019 年度 3Q 収支増減と決算見込の件

堀田会計理事より報告があり，承認された。

鳴谷庶務理事から，予算と実績の差異の比較は次年度から実施予定と説明があった。

9. 2020 年度予算案の件

堀田会計理事より報告があり，確認された。

齊藤会長から「一過性もあるが，定常的な形がファクトとして見えないと議論ができず，経営ができない。もう少し分析してほしい。実際どうなのかを詰めてほしい。予算額を議論するためのスケジュールになっていない」と指摘があった。

渡辺監事から「金額の増減がどこかを掴んで，議論するのがいいと思う。決算が出たときに 2017 年度から 2020 年度にかけて，大きく増減している箇所について，一過性か定常的なものかが知りたい。広告収入が減った理由もどこの会社が減ったかまで具体的に知りたい」とコメントがあった。

内閣府への提出用の次年度予算としては承認されたが，費用削減については継続調整することとなった。

また事務局で作成した収支改善の余地について、庶務理事が担当する理事の分担案を作成し、担当理事に依頼した上で、来年度に向けて決めていくことになった。

経常費用の削減策

- ① 研究普及理事担当。別途議論が必要。
- ② 三好研究普及理事担当。別途議論が必要。
- ③ 庶務理事担当。別途議論が必要。
- ④ 三好研究普及理事担当。別途議論が必要。
- ⑤ 村松編集理事担当。別途議論が必要。
- ⑥ 三好研究普及理事担当。別途議論が必要。

経常費用の削減策

- ① 2020年度まででいいかを審議する。海外は500万円の積立がなくなるまで、であることを確認した。
- ② 庶務理事担当。
- ③ 庶務理事担当。この場で顧問弁護士契約は解除しないことを決定事項とした。河東副会長から、上記削減策以外にも各研究会から収支改善する提案してもらいたい、とコメントがあり、アイデアを持っている理事は庶務理事に連絡することとなった。

10. 内閣府への届出（2月末まで）

- 10-1. 2020年度事業計画書
- 10-2. 2020年度収支予算書
- 10-3. 2020年度資金調達及び設備投資の見込み
- 10-4. 公益目的事業の変更届

鳴谷庶務理事から報告があり、2020年のシンポジウムのテーマに(仮)を付記する、研究部会の主査・幹事を最新化する前提で、承認された。

年度末での事業計画の変更は好ましくないため、昨年度通りで提出し、別途期中での事業の見直しを行い、変更届を出すこととなった。

11. 2020年度業務委託契約等更新の件

堀田会計理事より報告があり、承認された。

12. 2020年度通常総会日程の件

鳴谷庶務理事より報告があり、承認された。

【報告事項】

13. 役員選挙について

大城選挙管理委員会から報告があり、確認された。

一部所属の記載に誤りがあり、事務局で修正を行うこととなった。

14. 次回理事会予定について

鳴谷庶務理事から報告があり，確認された。

15. その他

木村副会長から，学会 HP の更新状況についてのクレームメールの紹介があった。機関誌や事務局からのお知らせ，研究部会の更新が滞っており，学会の顔である HP の整備を徹底してほしい，という内容であった。

上記議決を明確にするため，この議事録を作成し，議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2019 年度 第 6 回理事会

議事録署名人

議長（会長） 代表理事 齊藤 裕

（副会長） 代表理事 河東 晴子

（副会長） 代表理事 松井 知己

（副会長） 代表理事 木村 俊一

監 事 大城 直人

監 事 渡辺 隆裕